

平成 25 年度 第 2 回浦安市環境審議会 会議要旨

1. 開催日時 平成 25 年 10 月 7 日（月）午前 10 時～

2. 開催場所 浦安市文化会館 3 階 大会議室

3. 出席者

（委員）

柳憲一郎、奥真美、石川正純、樂々道夫、山口定代、大杉麻美、
古賀典道、大石昇、加藤里行、小林章宏、六井元一、渡辺雅彦

（事務局）

都市環境部長 長峰敏幸、都市環境部次長 大塚伸二郎、
環境保全課長 宇田川道高、
環境保全課環境計画係長 平林俊明、
同課環境推進係長 小澤浩一、
同課環境計画係 藤原紀征、村瀬さやか

4. 内容

(1) 部長あいさつ

(2) 議題

- ・浦安市第 2 期環境基本計画中間報告書（案）について
- ・その他

5. 配付資料

- ・資料 1 浦安市第 2 期環境基本計画の策定スケジュール（予定）
- ・資料 2 第 6 回浦安市第 2 期環境基本計画素案策定部会の主な意見と対応方針
- ・資料 3 浦安市第 2 期環境基本計画中間報告書（案）
- ・資料 4 浦安市第 2 期環境基本計画及び浦安市環境基本計画 施策の体系

6. 会議経過

○浦安市第 2 期環境基本計画中間報告書（案）について

・説明

浦安市第 2 次環境基本計画中間報告書（案）について説明した。加えて、本計画の名称変更（「第 2 期」から「第 2 次」への変更）について説明した。

・質疑

（会 長）

ただいま事務局から説明があったが、これについて質問はあるか。

p. 11 の施策の体系図のうち、基本方針 3 (2) の記述が途中で切れているので補う。

(委員)

他の計画に基づく環境指標が含まれているようなので、指標が何に基づくものか記載されているとよい。

(委員)

p. 12 に参考として環境指標の説明があるが、第 3 章全体に関わる内容なので第 1 節に入る前 (p. 11 の直後) に記載する。また、タイトルを「環境指標と参考指標」とした方がよい。

(委員)

p. 44 の前文にある「普及し、顕彰し・・・」の表現が適切かどうか検討してほしい。

(事務局)

表現を精査する。

(会長)

何を顕彰するのか、枕詞がないので文章が成立していないことに留意して修正する。

(委員)

p. 47 の最終行の「川」は、「境川」の誤りか？

(会長)

個別の名称を挙げる、もしくは一般化して「河川」と表した方がよい。

(会長)

p. 13 の環境指標に、規制基準が書かれていることに違和感がある。アスベストは、工場等の敷地境界の規制値であり、その 1/10 を目指すとしてはじめて目標になる。規制値をそのまま目標にするのはいかなものか。

(事務局)

WHO で、一般環境中の石綿濃度は 1 本～10 本／リットル程度であれば健康リスクは検出できないほど低いとされていることを踏まえ、検討する。

(会長)

そういった根拠を合わせて記述するとよい。

(委員)

環境価値の創生を謳っているが、具体的な施策の中でどれが対応するのかわからない。

(会長)

p. 47 の絆の森が環境価値の創生として挙げられているので、p. 7 の 1 の記述に例示したらどうか。

(委員)

進行管理を行う上で目標値が必要である。「基準値より減」等の記述があるが、進捗がわかる数字、バロメーターとなる数字を出していただきたい。

(事務局)

すべての項目に数値を設定することは難しいだろうが、目標値として出せるものがあれば挙げていきたい。

(委員)

おさんぽバスの利用者数は、おさんぽバスが市民に親しみやすいから挙げているのか。70歳以上の市民に支給される無料乗車券は、おさんぽバスでは使えない。利用者は多いが、なぜ無料乗車券が使えないのかという意見も多いので、対応を検討してほしい。

(会長)

おさんぽバスに無料乗車券を適用するかどうかは福祉の問題であり、環境問題とは議論の場が異なる。「市民に親しみやすい」は、おさんぽバスの利用者数だけでなく、すべての項目に共通しているタイトルである。環境指標だけでなく、参考指標市民に親しみやすい指標がもっと充実していけば、PDCAのチェックにつながる。指標のアイデアがあれば、どんどん挙げていただきたい。

(委員)

おさんぽバスの路線拡大は、目標にならないだろうか。

(会長)

「新規路線の検討」までは書けるかもしれないが、「何路線つくれ」とまでは言えない。既存のバス路線との競合も考慮しなければならない。

(事務局)

バス路線に市がどこまで関与するのかということもあるので、指標については、もう少し誤解のないように工夫したい。

(委員)

基準年とは一体何か。

(事務局)

計画策定時点で最新の数値が得られる平成24年度が基準年となるが、数字は現在とりまとめ中のため、仮で平成23年度の数値を記載している。

(委員)

「基準年より増」という目標は、仮に計画策定1年後にクリアしてしまえばそれでよいということか。

(委員)

目標がこのような抽象的な表現にならざるを得ないのは理解できるが、例えばこの項目については何年後までに数値を漸減させていく、

できなかった理由はこうだが、目標値としては継続する、そして計画を進めることによってどうなるのか。そのことをこの資料に入れてほしいということではなく、市役所としてそのようなスタンスで目標を設定しているとは思いますが、委員が聞きたいことはその点ではないかと思う。

(会 長)

環境基準をクリアするだけなら、どこの市町村も同じ状況である。さらによい環境をめざすならば、何年目にどこまで達成するという目標を設定しておかなければ、市が望む理想的な環境都市に向かっていけない。通常考える基準とは違う理想を目標に設定し、それを達成できたかどうかチェックしたらどうかということが、委員の意見の趣旨ではないか。

(委 員)

市民に親しみやすい指標とあるが、あまり親しみやすいように感じない。また、p.41に環境フェアの参加者数5,727人とあるが、この数字が多いのか少ないのかわからない。p.17河川の水の透明度をはじめ、それぞれの数値がどのような性格のものなのか。時系列的な調査結果があれば、わかりやすい。

(委 員)

環境イベントについて、以前の審議会で「集客に限界があることから他のイベントとまとめて開催することも必要」といった意見があったと思うが、資料にある数字は抱き合わせで開催したときのものなのか。

(事務局)

今年度の環境フェアは、会場の新浦安駅前が復旧工事で使用できなかったため、植木まつりと同時開催した（ここに示した5,727人は、平成24年度に新浦安駅前で行った環境フェア単体での実績）。具体的な目標値は、市として取り組んでいけることには設定を検討したいが、環境基準になっているものに市独自の目標値を設定しても、すぐに成果を出すことが難しいものもある。公園緑地関連は、緑の基本計画の改定の中で目標が設定されてくると思う。ご指摘の点は見直したい。

(会 長)

法定基準は大気の一部を除いてクリアしており、この部分を変更することは難しいが、参考指標は市の目標であり、かなりのことがいえる。環境フェアの参加者数等は自由に目標を設定することができる。目標を設定して努力することが必要であり、もう少し検討してほしい。

(委 員)

p.25の緑の基本計画に関連する環境指標の目標値は、改定のスケジュール的に反映することが可能なのか。

(委 員)

p. 63 に航空機騒音に関する記載があるが、JRの方がうるさいという意見がある。何か対策は考えていないのか。

(事務局)

J R 京葉線については、機会あるごとに JR に要望を出しており、JR 側も新しい技術を用いてできることは対応している。

(会 長)

p. 20 ア) の記述で、指摘の点は対応していると思う。苦情を減らしていくため、働きかけを市が行うということではないか。

(委 員)

p. 1 の下から 5 行目の「私たちの意識の奥底で」は、「私たちの意識の奥底に」の方が適切ではないか。

(会 長)

意見を反映して、「で」を「に」に変える。

○その他

(事務局)

第 2 次環境基本計画案にかかる審議については、本日の第 2 回審議会、庁内検討会、第 3 回審議会を経て、環境基本計画素案に対するパブリックコメントを行う。パブリックコメントでの意見反映については、1 月中旬に行う第 4 回審議会で審議いただく。その後、庁内検討会を挟み、2 月中旬に第 5 回審議会で最終的な審議をいただき諮問答申を予定している。

次回の会議開催予定は、11 月初旬を予定しており、日程が決まりしだい、事務局より連絡する。

(会 長)

以上で、本日の環境審議会を終了する。

○閉会